第１２号
令和８年１０月１５日
呉市立仁方小学校

# 仁方小だより

## 「市呉ができる応援がある」事業







１０月２４日（土）の呉市小学校陸上記録会に向けて、体育や放課後に５・６年生が練習に取り組んでいます。

今年度は、１０月８日（木）13 日（火）23 日（金）の３日間、呉高校から先生や陸上部の生徒が仁方小学校に来て、指導をしてくださっています。

これまでは、５・６年生全員が自分の選んだ競技を練習しました。１４日までの記録の中で、良い記録を残した人の中から選手が選ばれます。

今年度の記録会は、陸上記録会の会場の都合で、参加児童の移動は教育委員会が手配するバスに限定され、小学校で集合し終日参加して小学校で解散となります。





頑張っているところを見ていただきたいのですが、今年度は保護者の応援もできません。ご理解の上、ご了承ください。

１０月２５日（日）には、呉市体育祭が開かれます。仁方地区の代表として小学生も２名参加します。広い会場や多くの人数に臆することなく、頑張ってほしいと願っています。

## 日本スポーツ振興センター
## 災害共済給付システムの更新

皆様ご存じの通り、日本スポーツ振興センターでは、学校の管理下での負傷や疾病により治療した費用額に応じて、給付金を支払われる制度があります。学校では、入学時にお知らせし、加入についての同意書をいただいた上で、毎年学校から一括して加入の手続きを行っています。現在、仁方小学校の児童は、全員加入しています。

これまでは、学校の管理下での負傷や疾病があり治療したときは、保護者が医師等の証明書を学校へ提出し、学校で請求手続きを行い、学校へ給付金を取りに来ていただいていました。

これからは、令和９年１月からは、申請から給付通知までがデジタル完結に変わります。保護者がスマートフォン等を活用し、医療機関から受け取った「医療等の状況」等を撮影しアップロードすることで、日本スポーツ振興センターから直接、保護者が指定する口座に給付金が支払われる仕組みに変わります。ただし、障害や死亡に対する見舞金等は、これまでどおり学校からお渡しするようになります。

新しいシステムに更新されることに伴い、全国一斉に請求受付が一時停止される期間があります。詳しい日程については、学校から後日 tetoru 配信しますので、ご確認ください。

青い目の人形シリーズ　６

## ルーズ・ナオミ原爆ドームへ

仁方小だより第５号（令和８年５月２８日発行）に掲載した新聞記事にあったように、「平和の使者」としてアメリカからやってきた３２６体の「青い目の人形」が、１９２７年４月２０日広島県立商品陳列所（現広島市中区の原爆ドーム）に展示されました。

それから５６年たった１９８３年（昭和５８年）11 月１日（火）の東京新聞（夕刊）に、展示されていた原爆ドームをバックに南田洋子さんに抱かれたルーズ・ナオミが掲載されている新聞の実物が残っていました。下側の記事がそうなのですが、切り貼りしながら１枚にまとめられていました。

その記事を見てみると、赤枠で囲んでいるところに「青い目の人形。戦前、アメリカから日本の児童に贈られた友情人形だ。戦争中は敵国の人形として“処刑”の憂き身に。生き延びたのは一万二千余体のうちわずか百七十体ほど。日米“2 つの祖国”のはざまで波乱の人生航路をたどったこの人形昭和史がテレビドラマ化された。12 日の TBS２時間半スペシャル『青い目をしたお人形は』。同１０日には来日中のナンシー米大統領夫人を迎え、５６年ぶりに日米人形交流セレモニーが再現される。」とあります。夏休みにこの記事を見て、どんなドラマだったのだろうと興味をもち、TBS に問い合わせをしてみたのですが、その後、まったく音沙汰なしです。残念・・・。

ルーズ・ナオミは、広島県内はもちろんのこと、東京や北九州での展示にも駆り出され、遠くまで旅をしています。この１００年間、いろいろなものを見てきたことでしょう。



東京新聞（夕刊）　昭和58年(1983年) 11月1日(火曜日)

日米人形交流年表
大正13年5月　アメリカで排日移民法成立
14年4月　移民禁止法公布
15年6月　降誕祭直前にシドニー・ポッターリック氏と日米親善使節事・渋沢栄一氏ら、青い目の人形計画に合意
昭和2年3月　東京・日本青年館で青い目の人形を展示。1万2千余体が全国の幼稚園、小学校へ
4月　横浜港の税関でアメリカへ着礼の日本人形贈呈計画
11月　日本青年館で「碧（やまと）日出子」など答礼人形58体の協力会
16年12月　日本、ハワイ真珠湾攻撃
18年　敵性人形として青い目の人形処分
20年8月　終戦
48年8月　NHKテレビ「人形使節メリーナ」の放送をきっかけに157体の青い目の人形探しが開始
53年8月　38体の残存人形が集まって東京で青い目の人形展
56年8月　相星女学園・安田美千子さんの「青い目をしたお人形は『刑行』答礼人形『御目出子』が56年ぶりに里帰り」、元駐米ニナンシー米大統領夫人に「碧目出子」返還、日本青年館で「青い目の人形展」
58年10月　東京・四谷の四谷第四小で青い目の人形展

11月

# 人形処刑〟の悲話　よみがえる

## 生き残りのメリー170体
竹ヤリ、火あぶりを逃れて…

## 〝青い目の使節〟波乱の半世紀
TBSTVがドラマ化

TV&芸能



原爆ドーム前で、青い目の人形を抱いて感慨にふける南田洋子＝広島市で

## 〝まさに昭和史の裏面をみる感じ〟
特番「青い目をしたお人形は」

青い目の人形。戦前、アメリカから日本の児童に贈られた友情人形だ。戦争中は敵国の人形として“処刑”の憂き身に。生き延びたのは一万二千余体のうちわずか百七十体ほど。日米“2つの祖国”のはざまで波乱の人生航路をたどったこの人形昭和史がテレビドラマ化された。十二日のTBS二時間半スペシャル『青い目をしたお人形は』。同十日には来日中のナンシー米大統領夫人を迎え、五十六年ぶりに日米人形交流セレモニーが再現される。

昭和５８年（１９８３年）１１月１日（火曜日）　東京新聞（夕刊）よ